

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 社会福祉法人 友朋会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 経営理念及び経営目標を社内でも共有、実践している。	●		HPや事業計画に記載するとともに研修等を実施している。											8	9									17	
	2	【法令遵守】 法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		運営方針に定め、HPや事業計画に記載するとともに研修等を実施している。																					16	
	3	【公正な競争】 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		コンプライアンスの遵守に努め運営方針に定めている。またHPや事業計画に記載するとともに研修等を実施している。													10								16	
	4	【組織体制】 企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		法人本部を設置し、企画室係長を主担当に設定している。また、企業活動(福祉活動)が及ぼす影響について社内外も含めて、県社協依頼による出前講座、研修、広報や啓発を行っている。																					16	
	5	【知的財産保護】 知的財産の保護に取り組んでいる。	●		特許、商標、著作権や知的財産に関する研修を受講し保護に取り組んでいる。											8.2 8.3	9										
	6	【個人情報保護】 個人情報を適切に管理している。	●		運営方針に定め、HPや事業計画に記載するとともに研修等を実施している。																					16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		福祉サービス第三者評価の定期的な受審や利用者アンケートなどにより対話を重視した福祉活動に努めている。																				16	17	
	8	【サプライチェーン管理】 サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		利用者家族、サプライヤー等との連携に努め、人権侵害防止やコンプライアンスについての広報誌の配布などにより認識の共有に努めている。					5						8		10		12	13	14	15	16	17		
	9	【災害や事故への備え】 地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●		BCPを作成している。また、年12回の避難訓練や防災訓練を継続して実施している。													9			11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 事業承継に関する検討・対策を行っている	●														8	9									17
	11	【公正な貿易】 フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●				1	2			5						8					12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		各種ハラスメント規定の整備や研修を実施している。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5					8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7		
	13	【労働安全衛生】 業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		安全衛生委員会を組織し産業医等と連携のもと実施している。			3							8.8												
	14	【公正な待遇】 雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		正職員、無期・有期契約職員などの形態別の就業規則等の整備を実施し、法に基づいた公正な待遇に期するとともに働きやすい職場づくりを実施している。					5.5					8.5		10.2 10.3										
	15	【ワークライフバランス】 働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		就業規則等の整備をもとに働きやすい職場づくり及び残業時間の削減や有休消化の取得推進を実施している。			3		5.5					8.5 8.8		10.3										
	16	【人材育成】 適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		事業所内・外での研修(計15回)や専門スキル向上のための大学教授等による研修会の実施(年12回)等により能力開発や教育機会の提供に取り組んでいる。また取得推奨資格一覧(15種)を整備し、取得者には表彰金・取得費用補助を行っている。				4	5.5					8	9											
	17	【健康経営】 従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		職員には年2回の健康診断の実施、ストレスチェック制度の導入を行っている。また、腰痛予防対策として、熊本県理学療法士協会に依頼し実践的な研修を実施し腰痛の予防軽減に努める環境を作っている。インフルエンザ予防接種は職場で全職員無料実施している。						3				8										17		
	18	【ダイバーシティ経営】 多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		業務運営や昇進・昇格等に、人種、性別などの違いによる差別的待遇はない。また、高齢者でも働けるよう軽微な作業の抽出、業務の細分化や仕組みの整備を行っている。その結果高齢者(70歳以上職員・7名・全職員の14%)も活躍できる職場作りを推進している。				4.4	5.1 5.5					8.5		10.2 10.3								16.7		
	19	【新しい生活様式への対応】 新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		業種がエッセンシャルワーカー中心の業務となるが、ウェブ会議、ウェブ研修の導入など出来る限りの対応に努めている。										3		8	9.1			11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		手続きや社内文書等に関する電子化やソフト導入により業務の効率化、生産性の向上に努めている。											8	9.1			11	12						
	21	【プライト企業】 プライト企業に認定されている。	●													3	4					8	9				12

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 社会福祉法人 友朋会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																		
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		有害化学物質を把握し、適切な管理及び処理について把握し周知及び取り組みにつなげる【令和5年10月実施】			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1				
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		(予定)職員全体会議等での周知・啓蒙活動をおこなう。今後は簡易計算シート等を用いてエネルギー使用量を算出し周知及び取り組みにつなげる。【令和5年10月実施】 また、昨年まで設置の電力使用デマンドシステムにより得られた、時間ごとの機器の使用による効率的電力運用のノウハウをマニュアル化し、電力使用の削減に取り組んでいる。							7.3						13						
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		(予定)職員全体会議等での周知・啓蒙活動をおこなう。今後は簡易計算シート等を用いてCO2使用量を算出し周知及び取り組みにつなげる。【令和5年10月実施】 また、LEDライトへの切り替えや車輛のEV化、機器のオール電化により温室効果ガスの排出削減に努めている。		2.4						7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		職員全体会議等での周知・啓蒙活動をおこなう。職場での廃プラスチック、レジ袋削減のみならず家庭で取り組める活動実施に努める。【令和5年10月実施】						6.6									14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		ソフト導入によるペーパーレス化、裏紙の利用を促進している。										9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		今後は職員全体会議等での周知・啓蒙活動を実施する。トイレ、入浴などの福祉サービス提供時や生活面における節水等に努め、職員への周知をおこなっていく。【令和5年10月実施】		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.a						11.5			14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		今後は職員全体会議等での周知・啓蒙活動を実施する。コピー用紙やトイレットペーパー等の再生紙利用への切り替えに努め、環境に配慮した活動を推進していく。【令和5年10月実施】										9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●				1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の安全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●														11.6 11.7			13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5			13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・”伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6					9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●									6.1 6.3 6.6						11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●																12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●			公用車のEV化をすすめている。										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13					17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 社会福祉法人 友朋会

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。
 (様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレン ジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																					
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		安全確保・品質管理のための支援マニュアルの整備とともに、OJTの実施などを行っている。			3.9							9			12.4									
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		スロープ、手すりの設置などのユニバーサルデザインに基づいた施設環境整備を行っている。										9.1	10	11.7									17	
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15				17	
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7							12.2	13.1		15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	障がい者芸術活動のオールブリュットを推進し、障がい者の”はたらく”を推進している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15					17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		地域における一人暮らし世帯への配食、見回り活動など社会貢献活動を実施している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		ハザードマップをもとに防災計画や防災マニュアルを整備している。				4								11.5		13.1						16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	当施設自体が福祉避難所と指定されており、地域で災害発生時の受入れ態勢、連絡体制の訓練を地域・行政とともに実施している。また、地域で実施される防災訓練への参加や地域での炊き出し訓練への参加を行っている。救急時対応として、消防署職員による年1回の救急訓練を全職員で実施し、必要な技能の習得に努めている。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1					16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1								
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	近隣の小学校と連携し、5年生の授業の中に知的障がい者と協働する授業を年4回程度(コロナにより休止中)組み込んでいる。また、福祉の専門職である社会福祉士(年間2~3名受入れ)や歯科衛生士(年間2名受入れ)の養成大学等の専門実習及び評価機関として活動し、その機能を社会還元している。				4							8.6	10.2								17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●						4.4				8.5 8.6													17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5							8.6	10.2	12	13	14	15				17	

25 25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。